

～体験入学を終えて～



☆ 球陽高校 SSH（スーパーサイエンスハイスクール）中間発表会 ☆

☆球陽高校 SSH の中間発表を聞いてみて、想像していたよりも、クオリティーが高くて驚きました。SSH の授業の取り組みは、3年間を通して、自分の興味のあるテーマを琉球大学の方やいろいろな企業の方と連携して専門的に探究しているということがわかりました。

☆グループそれぞれ研究を行い、ちゃんと考察までして本当にすごいと思いました。さらに企業や大学と協力して研究していたり、商品化を目指しているグループもあって、中学校とのレベルの違いを思い知らされました。次年度から文理探究科に統合されることについて詳細を聞いて、苦手な英語も頑張ろうと思いました。

☆高校の中が物理実験室やラボ室など、中学にはない施設がたくさんあってすごいと思った。発表会では高校生同士の対話で進められており、聞き手が質問をして、話し手が疑問に答えていた。

☆シークワサーをトイレの芳香剤にすることを研究して、調べているところの説明が面白かった。沖縄の県産品を生かしてトイレをいいにおいにするという考えが思いつくのがすごいと思った。ほかにもいろいろ興味のある研究をしているところが多かった。また、一つのことをどこまでも深掘りして最終的に学校をよりよくしたいと言っていたことが印象的だった。

☆SSH の発表を見に行き、自分が興味のある分野について詳しく知れた。数学系の発表はむずかしくてあまり理解できなかったけれど、グループのみんなでいきいきと発表をしているのを見て、自分が好きな分野を探究するのは、こんなにも楽しいものなんだと感動した。

☆球陽高校は、225 校ある SSH 指定校のうちの一つで、私がみた SSH の発表はカフェインやブドウ糖に関係するものでそれぞれを摂取してどちらがより集中できるかということで結果はブドウ糖が1番良く、カフェインなどは疲れている時などに摂取することで集中しやすいということで、自分も入学して SSH をしたいと思いました。

☆球陽高校の先輩たちは、年齢が1～3歳ほどしかかわらないのに、とっても難しいことを発表していて話し方にも知性がありました。それでいてユーモアのある発想をしていて面白かったです。先輩たちをみて、自分もこの高校に入学したいと思うのと同時にこのままで入学できるのかと心配になり、僕のやる気のエンジンに火をつけるキッカケにもなりました。どの発表もデータに基づいた意見を言っていた。

☆先輩方が説明をしてくれている際、とても話し方が上手だなと感じました。聴き手の興味を引くようなプレゼンテーションですごくおもしろかったです。また、発表後の質疑応答の時間で先生方がこの部分はどういった対策をしているのか等の質問を投げかけていて、それに対して回答したり、今後の課題にしていたので、こうやってプレゼンテーションのレベルがどんどん上がっていくのは本当にすごいと思いました。『国内だけでなく、海外でも活躍できる人材育成の為に勉強に力を入れている』という言葉も印象的でした。

☆SSH がそもそもどんな感じで行われているか分からなかったけど、雰囲気が良くて面白い研究だし、新しい種類の寄生虫を見つけたりするなど、とても興味深かったです。

☆研究は国籍が違う人と共同でやったり、日本・台湾・タイの3か国でオンライン合同研究発表会を行うなど外国人と関わる機会が多いということを知った。



☆ 前原高校 ☆

☆前原高校の体験入学を通して、私は何事も生徒が主体となっていることにとても魅力を感じました。行事だけでなく、校則見直しの会議や、今回の体験入学のエスコートも生徒が行っていて、とてもすごい学校だと思いました。楽しい行事がたくさんあるし、自分のやりたいことを全力で楽しんでいる前原の高校生が輝いているように見えました。今まで迷っていたけど、ほぼ前原高校に固まったと思います。受検内容をしっかり確認し、今からでもできることはやっておこうと思いました。

☆前原高校に行くなら、総合スポーツがいいと思っていたけど、他のコースの人達の話の聞いたり、英語コースの人が英語をペラペラ喋っていてカッコいいなと思い、他のコースもしっかり見て決めたいなと思いました。

☆部活動見学では、具志川高校との練習試合の見学をしました。チームの雰囲気や先輩達のプレーを見て学ぶことがたくさんあったから少し家から遠いけど、前原高校に行きたいと思いました。

☆英語コースでは修学旅行で海外に行くと「英語」で話してくれました。自分の行きたいのは文理コースでとても良かったです。受験勉強のモチベーションが上がりました。

☆今回の体験入学にいて、今まで体験入学に来ている人よりも多いということを知り、本当に頑張らないと受からないということを実感しました。

☆入試について、総合スポーツ、文理、英語コースのどれも特色選抜のルールが違っていました。特色選抜は特別枠と通常枠がある事がわかりました。

☆英語コースでは、台湾や韓国にも行くそうで、とても楽しそうでした。



☆ 美来工科高校 ☆

☆プログラミングの種類で英語を使うものなどがあることを新しく知れた。ブロックをつかうプログラミングでは使うもので色分けされていて分かりやすかったです。

☆美来工科高校は、進学率・就職率ともに高く先生方のサポートも手厚いことがわかりました。また、先輩方もとても親切で緊張していた中学生を明るく元気な挨拶で出迎えてくれました。そしてこの体験入学を終えて、この高校に通いたいと思いました。そのために、残りの中学校生活、受験勉強を頑張りたいと思いました。

☆ 小禄高校 ☆

☆小禄高校は部活が盛んというイメージがとても強かったけど、話を聞いてみると、琉球大学や県外の大学の進学も多くて、部活動だけでなく、勉強もちゃんと両立してやっている学校なんだと新たに知りました。私はもう、小禄高校に進学することを決めたので、それに向かってたくさん勉強していきたいと思いました。

☆小禄高校は、普通コース・情報ビジネスコース・芸術教養コースがあり、自分の将来に合わせて好きな科目を選択できると知った。さらに普通クラスは特進クラスがあり、7:30 から早朝講座を始めると聞き、主に国公立や私立大学を受験したい自分に合っていると思った。アトラクションでは吹奏楽部の演奏や、書道部が私たちの為に「雲外蒼天」と書いてくれたりなど部活が積極的に活動知るのだと知ることができた。

